

# ならは 今とこれから MAP



## (仮称)ならはスマートI.C

- 平成30年度供用開始
- 地域経済の活性化 ○避難経路の確保
- 救急救命活動の向上

・交通ネットワークの形成



## 平成28年春より水稲作付再開

・農業を介した交流づくり



## 楢葉中学校

- 平成29年4月に学校再開
- 小中学校同一校舎において連携型教育

・魅力ある学校づくり



## 復興の新たな拠点 コンパクトタウン

- 災害公営住宅123戸のほか、宅地分譲地も整備中
- 歯医者さんも平成28年夏頃に診療開始予定
- 商業施設は平成28年度末オープン予定

・新たな町民のコミュニティ受け入れ  
・スマートコミュニティ導入



## ふたば復興診療所「ふたばリカール」

- 内科と整形外科を診療
- CTや内視鏡検査も受けられます



## 災害公営住宅

- 一ツ屋団地 8戸
- シウ神山団地 10戸



## 楢葉南工業団地

- 楢葉遠隔技術開発センター(写真)(モックアップ施設)等に関連した企業等を集積
- 新たな企業の誘致

・関連技術活用による起業、ベンチャー企業支援

～広域連携の観点から復興の取り組み～

- ◎町内外のつながりを深めた新しいコミュニティづくり
  - ・徐々に帰町する町民と、新たに町内に住む人々により、温かい地域コミュニティを構築する。
  - ・来訪者に対する温かいおもてなしにより、町外・海外との交流を深める。
- ◎広域連携によるJヴィレッジ等を活用した健康とスポーツのまちづくり
  - ・Jヴィレッジを復興し、総合グラウンドや、体育施設等を活用しつつスポーツ、食育など幅広く健康に関する研究・教育・活動を推進する。
  - ・活動を通じて「健康の町ならは」を国内外に発信し、交流を深める。
- ◎民間活力の連携
  - ・隣接自治体の町づくり会社、NPO等の連携を図り協働する。
- ◎社会資源の連携等
  - ・既存のスポーツ・文化施設等については、広域的な連携により、有効な利活用を図る。
  - ・被災地ツアーなど、世界へ向けての情報発信を広域的に取り組んでいく。



・新産業への産業転換による持続可能な企業活動の推進

## 産業再生エリア

- 新たな企業の誘致



## 電田駅東側エリア

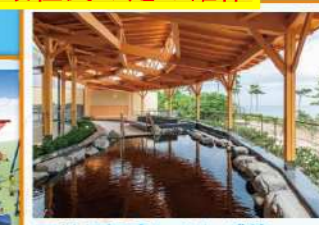
- 駐車・乗降スペースのある駅前広場
- 廃炉関連企業の事務所及び宿舍等を整備

・交通結節点形成による地域住民の足の確保



## 天神岬スポーツ公園

- しおかぜ荘、サイクリングターミナルがリニューアルオープン!
- 芝生広場には新しく大きな遊具が登場!



## 天神岬温泉しおかぜ荘



洋上風力発電



## 天神岬公園津波防災対策ビューポイント

震災の記録を後世に伝える施設



## 木戸川のサケ漁

- サケ漁も再開!
- 鮭ふ化場などの施設も復旧



## 新生Jヴィレッジ

世界に誇るナショナルトレーニングセンターとして再生! 平成30年夏までに一部営業を再開!

・Jヴィレッジの復興



太平洋 N